

祥明大学短期研修での学び

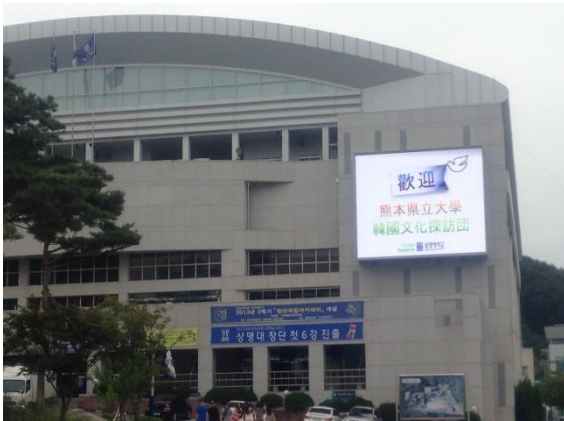
熊本県立大学 総合管理学部 3年 坂本 ひかる

9月5日から9月12日まで、韓国を訪れ、祥明大学の学生と過ごし、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私が今回、この祥明大学への短期研修に参加した目的は、新しい視点から世界をみるためです。

私は、総合管理学部なので学校では、政治、経済、法律など様々な分野を学んでいます。総合管理学部は、様々な視点から物事を解決し、社会を引っ張る人を育てることができる学部だと私は思っています。しかし、私は日本からみた韓国、日本からみた世界、日本からみた日本、全て日本に住んでいるから日本を拠点でしか物事をみることができていないのではないかと考えるようになりました。それは、様々な視点を持って社会の問題を解決していくには、どこか物足りないと感じました。だから、1週間、韓国で韓国の学生と過ごすことのできるこの研修にまず参加することで新しい視点から世界をみるきっかけになるかもしれないと思いました。

また、私は、何度か旅行で韓国を訪れたことがあります。何度か足を運ぶうちに、自分が毎回同じことをし、新しい韓国を発見することもせず、自分の知る範囲での韓国旅行を楽しんでいることに気づきました。だから、私は旅行では気づかない韓国を知るきっかけになると考えました。新しい視点からみる韓国を知り、経験し、新しい視点で世界を見て考えるきっかけとして、この祥明大学への研修に参加することを決めました。



1週間、学校で韓国語を習い、歓迎会を開いていただき、ホストファミリーとの時間、ソウル観光、キムチ作り、景福宮、民俗村、遊覧船、日本語文学科の講義、送別会まで多くの人に出会い、観光も、文化体験もすることができ、毎日とても楽しかったです。

そんな1週間の中で、私が感じたことは、言語はコミュニケーションをとるため、その国のことを知るために重要なものであるということです。今回、一緒に過ごした祥明大学の学生は、日本語学科であったため、私は日本語だけで、韓国語を話さなくてもコミュニケーションをとることができました。しかし、ホストファミリーのお父さん、お母さんは日本語が話せません。それでも、祥明大学の学生が韓国語を通訳してくれ、また簡単な単語やジェスチャーでコミュニケーションをとることはできました。でも、それでは限界があると思います。人と人との交流では、ジェスチ

ヤーでも成り立ち、関係を築くことができるかもしれません。しかし、違う視点から世界をみよう、日本からでなく、韓国から見た世界をみてみたいと思ったとき、言語はとても重要なものだと感じました。その国で、その国の視点から物事を知りたいのに、自分が日本語しか話せないならば、結局は日本を中心にしか世界をみていないのではないかと私はこの1週間で感じました。通訳では伝えられない自分の思いがあるし、自分の言葉で伝えたいと私は思います。言語があるから、人との会話で深い話ができるし、その国のことをその国の言葉で知り、自分の中で今までとの違いや新しいことに気づくことができ、より広い視野で物事を考えることができると思います。世界には多くの言語が存在します。それを全て学び、習得するのは難しいでしょう。でもせめて、違う視点から世界をみようと思ったとき、日本語だけでなく、英語だけでも話せるようになることで、世界に目を向け考える第一歩になるのではないかと思います。



今回、私は旅行で楽しむ今の韓国から、韓国の文化や歴史に目を向けるきっかけをもつことができました。旅行で楽しんでいた韓国を、もっと知りたいと思い始めていた私にとって新しいことを学ぶとても良い時間となりました。ホストファミリーとして1週間ずっと一緒にいてくれたみなさんは、1週間毎日、日本語で私たちを案内したり、説明したり、とても大変だったと思います。母国語の韓国語でなく、日本語を話せばならず大変なはずなのに、最後まで私たちを気遣い、優しくしてくれたことがとても嬉しかったです。日本人は本音を言えず、まわりの空気を気にすることが多く、私もその一人です。そのせいか、韓国人は思ったことをはっきりと口に出し、近寄りやすいイメージを勝手に持っていました。しかし、近寄りやすいということはなく、とても明るく陽気なのに、熱心さを持っていて、思ったことをはっきり言えるからこそ、人と人の関係は近く、情の厚さを感じました。

この1週間は私にとって、人と人とのつながりは無限の可能性があること、自分が一歩歩み寄るだけで、見える世界は変わることを実感する時間でした。この研修で、祥明大学のみなさんにお会いでき、一緒に時間を過ごすことができ、本当に嬉しかったです。私たちのために準備をしてくださったみなさん、ホストファミリーのみなさん、本当にありがとうございました。この1週間で感じたことを、今の生活につなげ、どんどん新しいことにも挑戦し、より広い視野で世界を見て考えることのできる人になっていきたいと思えます。そのきっかけを作ってくれた、祥明大学の方々、熊本県立大学、両親や友人、全ての方々感謝しております。そして、これからも祥明大学と熊本県立大学の交流が続くことを願っております。